



第3期高知県地域福祉支援計画

～「県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県」を目指して～



左にあるマークは、高知型福祉のロゴマークを県民の皆さんから公募したものです。

【作者の思い】

「虹は高知県の形をモチーフに、高知県で暮らす人々が、互いに支え合える安心感をイメージしています。」

また、中央のハート形の手を広げたものは、「幅広いニーズに応えていく姿勢を表しています。」



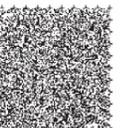
もっとこの計画を知りたい!

高知県地域福祉支援計画

検索

クリック!

令和2年4月
高知県



ごあいさつ

本県では、平成22年2月に、「日本一の健康長寿県構想」を策定するとともに、地域福祉の取り組みを推進するため、「高知県地域福祉支援計画」を策定し、これまで本県が抱える様々な課題の解決に向けて取り組んだ結果、あったかふれあいセンターを中心とした地域の支え合いの仕組みづくりが進むなど、一定の成果が現れてきております。

しかしながら、単身高齢者世帯や認知症高齢者の増加に伴い地域の支え合いの力が弱まるといった課題や、複雑な問題を抱えているひきこもりの方への支援などについては、総合的な対策をより充実していくことが求められています。



このため、これまでの取り組みを一層深化させ、さらに発展させることを基本としながら、数値目標をより明確化することに意を用いて、令和2年3月に第4期日本一の健康長寿県構想を策定し、地域で支え合う医療・介護・福祉サービス提供体制の確立とネットワークの強化などに取り組むなど、より骨太に、かつ挑戦的に様々な対策を講じていくこととしたところです。

あわせて今般、市町村の地域福祉の支援に関する事項として、各福祉分野が共通して取り組むべき事項を一体的に定めた「第3期高知県地域福祉支援計画」を策定しました。

この計画では、地域共生社会の実現に向け、あったかふれあいセンターの整備を通じた取り組みを発展、継続しつつ、制度のすき間を埋める包括的な体制整備の支援をはじめ、高知版地域包括ケアシステムや高知版ネウボラの取り組みなど、それぞれのライフステージに沿った切れ目のない一貫した支援体制を構築していくこととしております。

今後も、市町村や地域が主体となった地域福祉活動の取り組みが一層効果的に実践できるよう連携・協調してまいります。

こうした取り組みを通じて、県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる『高知型福祉』の実現を目指してまいりますので、県民の皆様方におかれましては、「第4期日本一の健康長寿県構想」はもちろんのこと、構想と一体的に推進する「第3期高知県地域福祉支援計画」に基づく取り組みにも、これまで以上にご理解、ご参画いただきますよう、心からお願い申し上げます。

最後に、第3期計画策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました高知県社会福祉審議会の委員の皆さまをはじめ、ご協力いただきました多くの皆さまに心から感謝を申し上げます。

令和2年4月

高知県知事 濱田 省司

